

新しい年に向けて猪突猛進!

新時代を開く年に!

大阪平和委員会理事長

近藤 正

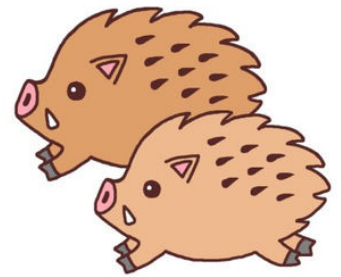
昨年は朝鮮半島の南北会談にはじまり、米朝の首脳会談にまで結びつきました。翁長さん急逝による知事選挙では、安倍政権ぐるみの介入を跳ね返し、「オール沖縄」と全国的な支援で玉城デニー知事を誕生させ一年を締めくくる快挙でした。

今年には日本平和委員会70周年記念大会の年です。また、いつせい地方選挙、参議院選挙の年。平和委員会の独自課題である仲間増やしを真剣に取り組み全国上げ潮の中で会員目標を達成させましょう。

土砂投入に満身の怒り

天王寺・代表 大江憲夫

新年おめでとうございます。いよいよウソにまみれた安倍政治を退陣させる年です。昨年は憲法9条改定阻止、沖縄県知事選挙勝利という二つの国民的課題で重要な成果を勝ち取りました。追い詰められ焦った官邸・自公は12月14日辺野古大浦湾に新基地建設の土砂投入強行という無法な暴挙を開始しました。満腔の怒りに震えます。権力を私物化し国民の暮らしを顧みず財界奉仕と軍拡、消費税増税へと狂奔する「アベ自公政権許さ



平和憲法革命
ソレッ!ヤルゾーッ!

小林徳子さんの年増勢で

東大阪・会長 齋藤孝義

11月17日東大阪の総会でお祝いに来られた上羽事務局長からこう言われました。「東大阪は財政的に大阪平和委員会の支柱といつてよい存在だ。東大阪が倒れると大阪も危うくなる。そんな自覚をもってほしい」実は上羽事務局長が心配するのも無理はなく会員数が200を切る有様です。だから当然新年の抱負としては組織を守ることです。会員拡大と言いたいところですが、これ以上減らさないことを抱負にしたいと思えます。来年は組織拡大の最大の功労者である小林徳子さんの卒寿の年です。式典の4月28日は増勢で喜びあいたいと思います。

会員百人の実現を

堺・会長 片山直規

11月25日総会・映画会を行いました。総会では、昨年の和歌

山友が島砲台跡めぐりに続く淡路島の由良砲台跡を中心にした戦跡めぐりが平和バスツアーとして定着してきたことやそのレポートを「堺平和のための戦争展」で披露できたこと、また「ヒバクシャ国際署名」が445筆(全国830万)集まったことなどが前進面として確認されました。

総会後の「コスタリカの奇跡」の上映では、40人近くが鑑賞し、軍隊のない国コスタリカの歴史や自然・文化・国民性などを詳しく映像を通して知ることができました。軍隊に使っていたお金を医療、教育、文化、住宅に回したらどんなことができるかわかりました。

2019年は、若い会員の間で「もつと頻繁に、気軽に映画会開きたい」との声があがっている。映画会の企画を増やしたいと思えます。100名の会員をぜひ実現したいのでいつも手に申込み用紙を持つようにしたいと思えます。

アベ・インシンの崩壊を

生野・会長 戸井逸美

10月からの消費税10%への引上げや、後期高齢者医療保険料の軽減措置を廃止するなど、社会保障を狙う一方、中期防衛力整備計画の予算額が過去最大の25兆4700億円とする方針を安倍内閣は決めた。

「命削って軍拡に」これを阻止する「軍縮で命健康を肥やそう」。念頭に当たり統一地方選、

西淀川第六回総会

(12月12日実施)

5年前に再建総会をした同じ12日、第6回総会を18歳から88歳までの幅広い35名で開催。今回の一部は、会員でもある前市会議員北山良三氏より、「カジノ万博 どうする大阪」と題するミニ講演で学習しました。

日本のギャンブルの実態と強行採決されたカジノ実施法の概要、カジノ推進者のゴマカシから話が入りました。カジノ万博の問題点では、①万博のテーマが「いのち輝く未来社会のデザイン」というのに、ギャンブル依存症でいのちや生活を奪っていいのか!②万博費用の他に、夢洲の基盤整備に3250億もの公金が投入されているのか、③夢洲はゴミ埋立の危険な土地で災害に最も弱い場所、大量の来場者を集めるのは極めて危険である、など万博とカジノを切り離して、開催場所の変更とカジノを止める運動、来年の選挙で審判を!と訴えられました。

二部は、穂久会長の挨拶、亡くなられた会員へ黙祷、大阪平和委員会の山本樹事務局員から連帯あいさつと続き、乾杯後、恒例の忘年会に入りました。少しお腹がふくれたところで、2018年の活動報告と今後の方針、会計報告・監査報告、次期役員を拍手で確認しました。その後は、参加者全員が平和

への思いや近況など一言ずつ発言し、決意を固めあつて交流。前日から仕込んだおでんが好評で、ジャガイモが数個残っただけ、分担した手料理もすつかり平らげられました。赤旗日刊紙に折り込んだチラシで4名の方が参加され、カンパもいただき1名が会員になってくれました。



《2019年1月の行事予定》

- 9日(水) 第3回理事会 18:00~ 新年会 19:30
- 12日(土) 青年研修会 13:30 @東京 (~13日12:30)
- 14日(休) 日本平和委員会女性委員会 13:00~15:30
- 19日(土) 関西ブロック会議 午前10:00
神戸市生涯支援センター・コミスタこうべ
- 25日(金) 9条改憲STOP!環状線全駅作戦 18:00 桜ノ宮駅
- 26日(土) 関西原水協学校 13:00 かんぼの宿富田林
緒方康夫氏・安井正和氏講演 (~27日11:30)



国際社会から見た日本のメディア、ジェンダー、貧困

大阪平和委員会・女性委員会は12月9日、天王寺区内で英国エセックス大学人権センターの藤田早苗さんを招いて講演会を開催。参加は、英字新聞の外国人記者、MBSなどメディア関係者、弁護士、高校生・大学生など会場いっぱい約60人。

藤田さんは「国際社会から見た日本のメディア、ジェンダー、貧困」と題して多数の写真を使用して90分以上にわたり熱弁をふるいました。以下はその骨子。

「生まれてきた人間すべてに対して、その人が能力を発揮できるように、政府はそれを助ける義務がある。その助けを要求する権利が人権。人権は誰にでもある。人がすることを尊重し、不当に制限しないこと。人を虐待から守ること。人が能力を発揮できる条件を整えること。この尊重、保護、充足の義務の主体は行政、国家」「第2次大戦前、人権は国内問題（内政干渉）であったが、第2次大戦中の著しい人権侵害への反省から国内事項から国際関心事となり人権尊重は国連の主目的のひとつとなった」「日本では、市民の側に立ち権力を監視するのがメディアの役割なのに、記者クラブ制度のためアクセスジャーナリズム（権力から情報をもろく見返りに、権力に都合の悪いことは書けない）になっている。強姦罪の認知件数が百万人に10人

（英国は百万人に510人）と少ない。その背景には女性警察官が全体の8%と少なく、男性警察官がマネキンを用いて強姦の様子を再現させる（セカンドレイプ）という現実がある。今年10月からの生活保護費引き下げについて、国連ではこれを懸念し見直しを求める4人の国連特別報告の共同声明が5月に出た。この引き下げは「後退禁止原則」からも許されない」

「次は25歳の青年の感想文」

「国際社会の考えと日本政府とのギャップがここまで大きいものとは考えていなかった。個人通報制度」（人権侵害を受けた個人が人権条約機関に直接訴え、救済を求める制度。日本はこの制度が使えない）と後退禁止原則をしっかりと覚えて帰りたいと思います」

講演、司会・開会閉会挨拶、音楽演奏もすべて女性、女性づくしのつどいでした。



映画とトークのつどい

「核兵器なき世界へ」

大阪平和委員会も事務局を務めた「核兵器なき世界へ」映画とトークのつどいが、12月1日午後1時半〜午後8時まで大阪市内で600人の参加で開催され、大成功を収めました。

つどいは、山川美英・寝屋川市原爆被害者の会会長の挨拶で始まり、「NAGASAKI 1945 アンジェラスの鐘」の上映と同映画監督の有原誠二さんのトーク、映像「広島」の記憶幻の原爆フィルムで歩く広島」上映と広島で被爆した森容香さん（枚方市原爆被害者の会会長）のトーク、「アオギリにたくして」上映と同映画で主人公の母親役を演じた女優の斎藤とも子さんのトーク、そして最後に事務局長の梅田章二弁護士との閉会挨拶で幕を下ろしました。また、映画上映とトークの間にはケイシユガーさんによる「ピアノ弾き語り」やうたごえ協議会によるうたごえもちりばめられ、長丁場の息抜きの役割を果たしました。



「NAGASAKI1945 アンジェラスの鐘」の上映と同映画監督の有原誠二さんのトーク

やめて 実弾演習 やめて 土砂投入

「住民の命を守り、自衛隊の実弾演習に反対するあいば野集会」

が12月8日滋賀県高島市内で関西6府県350人の参加で開催されました。

この集会は、11月14日あいば野演習場で大阪の第37普通科連隊（和泉市駐屯）による81mm迫撃砲の射撃訓練中に発射された弾丸が国道303号の道路に直撃、民間車両の窓ガラスを破損した事件に抗議するため「あいば野平和運動連絡会」など3団体の呼びかけで開催されたもの。

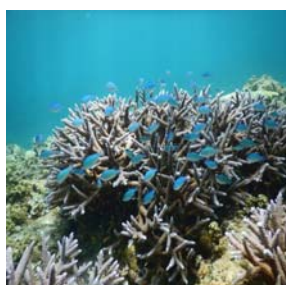
大阪平和委員会からは、旭区・芦田会長、和泉・寺田副会長らが参加。

大阪平和委員会が独自に作成した横断幕が集会後の町内デモの先頭幕として使われました。

なお、この「横断幕」は、集会終了後、大阪平和委員会から「地元の運動に役立ててほしい」と集会であいさつをしデモの先頭で歩いた「あいば野平和運動連絡会」の早藤吉男さんに手渡されました。



大阪平和委員会は、安倍政権が沖縄県知事選での民意を無視し辺野古への土砂投入を強行した12月14日正午より近鉄上本町駅頭で「沖縄連帯行動」を参加10人で実施。安倍政権の強権姿勢に抗議する場となり、「辺野古新基地建設工事の中止を求める請願署名」も32筆寄せられる結果となりました。またこの行動では、土砂が投入されようとしている大浦湾の海に生きるクマノミやサンゴの写真が紹介された「抗議ハガキ」も配られ、好評でした。



今月の言葉

「殺人予告や『殺せ』という扇動があり…」

2017年末、私はドイツの「移住者」の一人になった。ドイツでは一般的に、難民も移民も「移住者」と表現する。

日本で私に対する殺人予告や、「殺せ」という扇動があり、沈静化するまで自分自身を鍛えようとドイツにきたものの、ドイツ語力ゼロで始めた生活は、やはり困難を極めた。

(岩波「世界」12月号「移民社会の闘う民主主義」辛淑玉=シン・スゴ)

日本は在日コリアン3世を排斥する国なのか！